

船木小だより



銚子市立船木小学校
令和4年1月21日
No.12
(学校評価特別号)

12月に実施しました「学校評価 保護者アンケート」にご協力を頂き、ありがとうございました。アンケートの結果は別紙のとおりです。

昨年度から続いています新型コロナウイルスの影響で、学校行事や校外学習の多くが規模縮小や内容変更をせざるを得ない状況です。このような限られた中で、より良い教育活動を推進するために様々な工夫をしましてまいりました。今回、保護者の皆様から頂いた評価や貴重なご意見を真摯に受け止め、より良い船木小と健やかな児童の育成を目指し、学校経営の改善に生かしていきたいと思っております。これからも船木小の教育活動に一層のご理解とご協力をお願いいたします。

アンケート結果から

学校・家庭生活について

- 多くの児童は、「**学校は楽しい**」(98%)と回答し、保護者や教職員も児童が楽しく学校へ通っていると評価しています。コロナ禍で学校行事などが縮小している中ではありますが、内容や方法を工夫したり、児童会が中心となかなかよしタイム(全校縦割り活動)を行ったり、全校児童が交流しながら楽しい時間がもてるように努めています。
- 学校や地域での元気な**挨拶や返事**については、児童や保護者はきちんとできていると評価しています。また、児童会が中心となって挨拶運動を実施し、あいさつOKカードをつくったり、「あいさつの3つのあ(相手より先に・相手の目を見て・明るく元気に)」の観点で挨拶ができている友達を紹介したり、挨拶の意識付けを行っています。
- 学校では、**規則正しい生活や基本的な生活習慣**が身に付くように指導しています。保護者や教職員は徐々に身についてきていると感じ、児童の成長を見守っています。引き続き、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



授業や学習指導、特別支援教育について

- 教職員は、学習指導要領が示す「対話的、主体的で深い学び」を実現するために**授業改善**に努めています。今年度は、GIGAスクール構想により一人一台のタブレット端末が配付され、ICT(インターネットや通信技術)を活用した学習活動と**個に応じた指導**の充実を図っています。例えば、ドリル学習ソフトを活用してその子に応じた学習問題を解いたり、確認テストを行ったりするなど、学習理解の把握と個に応じた学習に役立てています。また高学年では、授業で調べたことを写真やイラストとともにタブレット端末を使ってまとめ発表会を行ったり、タブレット端末を操作しながらグループで話し合ったりする対話的な学習も取り入れています。さらには、ビデオ会議ソフトを活用して近隣の小学校と交流学習を行うなど、学習の幅を広げることができました。その結果、ほぼ全ての児童が「授業が分かりやすく、いろいろと工夫した授業」だと感じています。今後も、ICT活用の利点を生かしつつ、従来からの思考力・表現力や知識・理解などを深めるための指導も並行して行っていきます。
- 授業への取組**については、90%以上の児童・教職員が「しっかりと話を聞いたり、発表するなど前向きに取り組んでいる」と評価しています。保護者の評価はやや低く(約80%)、もっと頑張ってもらいたいと願っているようです。
- 特別支援教育**については、三者ともに、特別な支援や配慮が必要な児童も含め、「一人一人の特性を大切にした教育活動を行っている」と肯定的な評価をしています。



- ・**家庭学習**については、約75%の児童が「学年に応じた家庭学習に取り組んでいる」と自己評価していますが、保護者（約50%）はもっと頑張してほしいと思っているようです。学校では、家庭学習の手引きを配付し、学習方法などを示しています。また、学期ごとに強化週間を設け、学習計画や内容の確認・アドバイスも行っていますが、さらに家庭と連携をして充実させていきます。
- ・**読書活動**については、学校では読書賞の授与や読みやすい本の購入など読書を奨励していますが、保護者は家庭での読書が十分ではないと感じているようです。

道徳性の育成やいじめ防止について

- ・学校では、道徳科の授業を工夫し、児童の**道徳性**の育成に力を入れています。ほとんどの児童や保護者は、「思いやりや規範意識などの道徳性が育ってきている」と評価しています。
- ・**いじめ防止**については、教育活動全体を通じて児童の道徳性を養い、いじめに向かわない態度・能力を育成しています。また、いじめゼロアンケートや教育相談を行い、素早い対応を心がけています。そして、90%近くの保護者が、「学校はいじめ防止や適切な指導に努めている」と評価しています。

学校・家庭の連携について

- ・**児童や保護者との対応**では、教職員は、誠意をもって丁寧に対応するように心がけています。その結果、ほぼ全ての児童が、「先生方は親切に対応してくれる」と回答しています。今後も児童や保護者が話しやすく、遠慮なく相談できるように努めていきます。
- ・学校からの**情報発信**については、ホームページやマチコミメールを積極的に活用しています。学級通信については、カラー写真による児童の生き生きとした活動の様子をお伝えするためにデジタル配信としました。また、広く多くの方々が見ることできるホームページも充実させていますので、是非ご覧ください。
- ・約80%の児童が「学校での出来事や連絡などを家庭で話している」と回答しています。これらのことから、保護者は学校の様子や連絡事項を多様な手段で知ることができ、約80%の保護者は「適切な**情報発信**が行われている」と評価しています。
- ・コロナ禍で保護者が来校する機会が減ってしまいましたが、約85%の保護者が様々な場面で**学校に協力**していると評価しています。同様に、全教職員も「保護者は学校に協力的である」と感じています。

健康や安全安心な学校について

- ・**体力づくり**については、約90%の児童と教職員が、体育の授業や業間活動で体力づくりに取り組んでいると評価しています。しかし、保護者はやや低い評価となりました。例年ならば、部活動の練習でも体力向上や運動への興味・関心を高めることができましたが、今年度は部活動が全て取りやめになったことが影響していると思われます。
- ・**安全指導**については、火事や地震・津波などの災害に対する避難訓練や交通安全教室・自転車教室など、児童の安全に関する取組を積極的に行っています。今年度は千葉県警察より「あおぼーし隊」を招き、犯罪に遭わない方法や不審者対応などについて学習する予定です。（2月）



教育活動について

- ・今回のアンケートでは、自由記述欄にも様々なご意見を頂きました。これらのご意見も重く受け止め、**学校の教育活動に満足**の評価が向上するよう学校運営の参考にさせていただきます。
- ・この2年間は、新型コロナウイルスの影響で様々な教育活動が制限され、学校生活に大きな影響が出ています。今後もしばらくはこのような状況が続くものと思われます。学校と保護者、地域が連携をして、この状況を乗り越えていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。